

御 礼

謹啓 皆様におかれましては、益々御健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、このたびは本市に対し、東日本大震災の被災地見舞いとして、丁重なるお見舞いを頂戴し誠にありがとうございます。

御厚情に対し深く御礼申し上げます。

突然襲った大震災では、尊い生命が失われ、更に多くの市民が住家を失いました。

又産業経済においては、壊滅的な被害がもたらされ、想像を絶する被害の大きさに、市民生活はかつて無い打撃を受けたところです。

震災から二年余が経過した今日、市民は落ら着きを取り戻しつつありますが、未だ仮の住まいで将来への不安を抱えた生活を送っております。

そのような中、皆様からのお心遣いは大きな励みとなっております。

復興へは、まだまだ膨大な時間と労力を要しますが、市民一丸となり、全力で取り組んでいく所存でありますので、今後とも御支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご活躍をお祈り致し、書面ではございますが御礼の挨拶といたします。

謹 白

平成25年11月20日

気仙沼市長 菅原 茂